

日本経済新聞 2011 年 10 月 7 日掲載（神奈川経済欄）

社内パソコン遠隔操作 三技協、携帯から接続可能

通信技術支援の三技協（横浜市、仙石通泰社長）は携帯電話などを通じて会社内のパソコンを起動し、接続可能にするプログラムを開発、販売を始めた。端末の電源を外から切れるようにして、電力使用の無駄を避けられる。在宅勤務の促進につながる利点もある。

自宅のパソコンだけでなく、スマートフォン（多機能携帯電話）や iPad（アイパッド）などタブレット端末と社内端末の接続が可能。企業が持つデータセンターなどに専用のサーバーを設け、各端末に通信する仕組み。携帯電話などからの遠隔操作で、電源を入れたり、切ったりできる。

社員が社内端末の電源を切って帰宅しても、社外から接続できる。災害発生時などは在宅勤務に役立てられる。業務データをダウンロードせず端末のデスクトップに直接接続する。顧客のデータベースなど情報の流出を防げる。導入費用は 1 企業あたり 20 万円から。初年度は 20 社にシステムを販売する計画だ。